

## 一般部毛筆最優秀作品

(4月28日締切分)

(吉田成美先生評)



### 条幅規定

師範正 藤 秀月

柔軟な起筆、開閉、抑揚のきいた用筆はさすが師範正である。自然のリズムの中に文字の大小の変化や線の太細がバランスよく配置され躍动感のある作品となつた。上へ目指そう。

### 条幅隨意

師範 矢野 涼湖

何と大胆な書表現であろう。一番難しい語句にスポットをあて、チャレンジする創作意欲はさすが師範である。手本に捕われず、つねに自分に目標を課し、挑戦する姿勢に脱帽。

### 条幅隨意（臨書）

師範正 石田 一義

多種な用筆に、大胆な筆法、デフォルメの要素を前面に出し、臨書を書芸術にまで高めようとするその姿勢は賛同する。や、横画の右上り、墨量の変化を加味すれば更に風格が増すであろう。

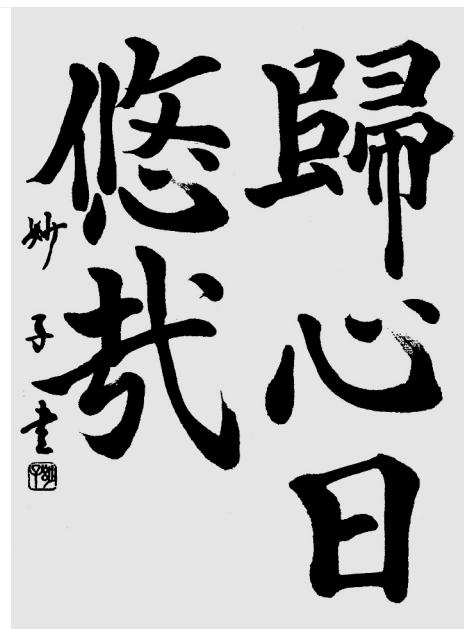
## 一般部毛筆最優秀作品

(4月28日締切分)

半折½横

師範正 田尻 白華

春。野原一面に咲きほこり、  
風にゆれる花たち。厳しい冬を  
乗り越え、一気に大地を染めた  
強さと優しさ。小粒ながら詩情  
をよく理解し表現している。  
花の薫りが漂う快作である。



半紙隨意(臨書)

成家 深町 鳳月

墨量豊かに、一文字  
ずつに心をくだいて表  
現し、全体のバランス  
も良く格調の高い筆致  
を見せながら、純朴な  
線にも魅力を感じる。

成家 秋永 春霞  
運筆の歯切れの良い  
リズムと安定感のある  
字形、余白の美しさが  
作品を高尚なものにし  
ている。心の充実と書  
の楽しさが伝わってく  
る。

半紙隨意

成家 秋永 春霞

師範正 坂田 妙子  
自然な筆捌きで運筆  
に迷いが無く、墨・紙  
・筆にもこだわりなが  
ら、気持ちも貫通し、  
余裕さえ感じられる。  
白もよく響き合い骨力  
のある快作です。

半紙規定

師範正 坂田 妙子

# 学生部毛筆最優秀作品

(4月28日締切分)

(坂元紫香先生評)



学生部条幅	
中二 準五段 吉田 京香	伸びのある明るい線にとても魅 力を感じる作品です。日頃の熱 心な努力の成果ですね。さらには 上の段位を目指して頑張って下 さい。
小一 準七級 宮下 真穂	伸びんきいいつぱい の“たい”がかけ ましたね。おし ゆうじのたのし さがつたわりま す。これからも たくさんれんし ゅうしようね。
小二 準三級 遥斗	一生けん命に練 習のできたりつ ばな作品です。こ れからさらにき たいしています。
小三 準四段 白石 莉子	名前もていねい にしつかりと書 けています。こ れからさらにき たいしています。
小四 準四段 伊賀良奈緒	本文・名前とも に気のこもった 線で、どうどう と書けました。さ らに上の段を 目標して、たく さん練習しまし ょうね。期待大。
小五 準五段 大場 菜央	伸びのある明る い線が作品を大 きく見せていま す。上位有段者 に負けない力を 持っています。今 後、さらに期 待しています。
小六 準四段 吉本 一葉	伸びの线で、た めに書けています。 今後は“ハネの 筆づかいに気を つけて、頑張っ て下さい。
小七 準七級 後田 康貴	伸びんきいいつぱい の“たい”がかけ ましたね。おし ゆうじのたのし さがつたわりま す。これからも たくさんれんし ゅうしようね。
小八 準七級 横山 茉季	伸びの线で、た めに書けています。 今後は“ハネの 筆づかいに気を つけて、頑張っ て下さい。
小九 準七級 大野圭史郎	伸びの线で、た めに書けています。 今後は“ハネの 筆づかいに気を つけて、頑張っ て下さい。
小十 準七級 後田 康貴	伸びの线で、た めに書けています。 今後は“ハネの 筆づかいに気を つけて、頑張っ て下さい。

# 硬筆部最優秀作品

(4月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級	
氏名	平田 薫愛
段級	

段級	
氏名	柏本 菜那
段級	

段級	
氏名	山名 映理
段級	

段級	
氏名	入江 春菜
段級	

段級	
氏名	大平 松泉
段級	

段級	
氏名	五年 堀 彩乃
段級	

段級	
氏名	吉之元 萌衣
段級	

段級	
氏名	緒方 梨乃
段級	

書評	
氏名	美代子
段級	

段級	
氏名	友成 天音
段級	

段級	
氏名	柏本 菜那
段級	

段級	
氏名	日高 玲音
段級	

花の球根や野菜の種を優しく包んでいる土のにおいだ。育海はスカートのすそに泥はねが付く雨の日は好きではない。けれども、黒い土においてかぐのは好きだった。

山村暮鳥はかつて、「ちめんのなの花」と二十四回も繰り返す文字を連ねて菜の花を歌つた。薄緑色のや、不細工な形の葉に黄の花が溶け込む。私たちにはそこへ希望の帆布を見る。

新五年生になると文字数が増えます。それでも伸びやかに、ていねいに書けています。平仮名を少し小さめにね。

なかがわゆめ 小一 準7級  
おほんをしきりとみて、なまえまでとてもいいねいに、じょうずにかけました。これからもがんばってくださいね。

中学 特待生 平田 薫愛  
ささが“特待生”的作品です。“継続は力なり”で、今後は、一般部へもどんどん挑戦して下さる長に期待大です。

小五 準三段 大平 松泉  
力のこもった線で一生けん命に書けましたね。今後期待しています。

小四 準1級 堀 彩乃  
漢字と平仮名のバランスが良く、明るく書けた作品です。“ペンの使い方もとても上手です。段までもう少しです。がんばってね。

小二 準5級 入江 春菜  
力のこもった線で、むずかしいかん字もしううのできたらしくなります。名前もりっぽに書けています。

井口 美代子  
くすると抑揚の変化が増すと思

小六 準5段 友成 天音  
明るくすつきりと作品をまとめた腕は、さすが上位有段者です。この線は宝物ですよ。これからもさらにはがんばってね。期待大。

小四 準2級 吉之元 萌衣  
伸びやかな線で、紙いっぱいに萌衣さんの元気あふれた作品です。この線は宝物ですよ。これからもさらにはがんばってね。期待大。

小三 準2級 緒方 梨乃  
三年生になるとマスクがなくなり、かつたと思いますが、バランスよく、ていねいにして形よく書いています。